

入札監視委員会の審議概要

開催日及び場所	令和6年2月5日(月) 北海道運輸局 6階会議室	
委員	委員長 久保 淳司 (北海道大学 教授) 委員 青野 渉 (弁護士) 委員 上木 いくみ (税理士) ※敬称略	
審議対象期間	令和5年7月1日～令和5年12月31日	
抽出案件	総件数5件	
	物品・役務 一般競争	①自動車購入契約
		②北海道運輸局旭川運輸支局及び北海道検査部旭川事務所構内除排雪作業請負契約【単価契約】
		③一般定期健康診断及び特別定期健康診断業務請負契約【単価契約】
	役務 随意契約 (企画競争)	④令和5年度「北海道内離島の観光の振興に向けた実証事業」
⑤「姉妹校提携を見据えた豪州からの訪日教育旅行受入可能性の検証」業務		
意見・質問 及び回答	別紙のとおり	
委員会による意見の具 申又は勧告	無し	
その他	委員交代に伴う委員長の互選による選出	

《参考》

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年2月9日閣議決定)に基づき、北海道運輸局に設置されています。

①	自動車購入契約	
	委員	北海道運輸局
	○入札価格と環境性能をどのように統合して落札事業者を決定したのか説明していただきたい。	●「環境物品等の調達に関する基本方針」に基づき環境性能を点数化した上で、入札金額を点数化した値で除算した「評価値」を応札者ごとに算出し、評価値の高い方を落札者として決定した。
②	北海道運輸局旭川運輸支局及び北海道検査部旭川事務所構内除排雪作業請負契約【単価契約】	
	委員	北海道運輸局
	○参考見積書の額と入札金額に開きがある事業者がいるが、このように差が開くことはあるのか。	●（金額を大きく下げる下げないは）各事業者の判断となるが、差が開くことは多少なりともある。
③	一般定期健康診断及び特別定期健康診断業務請負契約【単価契約】	
	委員	北海道運輸局
	○参考見積書の提出はあったが、応札してこなかった事業者がある。参考見積書を徴収する段階で、実施の可否については確認していないのか。	●確認は行っている。ただ入札に参加しない理由については把握できていない。
④	令和5年度「北海道内離島の観光の振興に向けた実証事業」	
	委員	北海道運輸局
	○事業者を選定する際に重視したポイントを伺いたい。	●限られた期間の中で実証・販売等を行う体制が整っているか、データに基づく現状把握を行った上で事業遂行できる体制が整っているかの2点を重視した。
⑤	「姉妹校提携を見据えた豪州からの訪日教育旅行受入可能性の検証」業務	
	委員	北海道運輸局
	○1社からの応札であったが、問合せは何社程度からあったのか。	●3社から問合せがあった。9月にATWSという世界的規模の大会が北海道で行われたことによりマンパワーが割かれたことも企画提案に至らなかった理由の一つと伺っている。
	○契約となった事業者が（運輸局で定める）基準を満たしていたということか。	●「各審査員による採点の合計点の平均点が25点以上」としており、その基準を満たしている。